



三重大学創立70周年

受講料
無料

三重大学 人文学部 公開講座 2019

複数の講座の受講も
歓迎いたします!

| | | |
|-------|---|-----------------|
| 9/26 | 三重の環境問題と国連持続可能な開発目標 (SDGs) との連携による持続可能な三重創生 | 朴 恵淑 (人文学部教授) |
| 10/30 | 標準語と方言—ドイツ語圏スイスの事例から | 大喜祐太 (人文学部講師) |
| 11/14 | 台湾の同性婚とLGBT文学 | 劉 靈均 (人文学部特任講師) |
| 11/21 | 社会保障制度について考える | 諏訪克之 (人文学部准教授) |
| 11/27 | 邪馬台国と大和王権—邪馬台国はその後どうなったのか | 小澤 毅 (人文学部教授) |
| 12/13 | 超高齢社会と家族法 | 稲垣朋子 (人文学部准教授) |

各講座の詳細は裏面をご覧ください

| | | | |
|----------------|---|------|---|
| 対象 | 市民一般 住所は問いません | 受講料 | 無料 いくつでも申し込み可能です |
| 場所 | 三重大学人文学部 教室は当日、掲示等でお知らせします お越しの際は公共交通機関をご利用下さい | 申込方法 | 下記の申込先に電話・FAX・Eメールのいずれかで、「お名前・ふりがな」「連絡先(電話番号)」「希望する講座の題名と整理番号」をご連絡下さい |
| 定員 | 特にありません お申込が必要です(申込者が3名未満の場合は、開講しないことがあります) | 申込期間 | 8月1日(木)～各開講日の5日前まで |
| 申込先 (問い合わせ) | 三重大学人文学部チーム総務担当 (受付 平日9時～16時)※8/13～8/15は除く 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 | 電話 | 059-231-6991 / 059-231-9196 |
| | | FAX | 059-231-9198 |
| | | Eメール | info-hum@ab.mie-u.ac.jp |



- 徒歩/近鉄名古屋線 江戸橋駅下車 徒歩約15分
- バス/【津駅東口④番バス停】三重交通バス 大学病院バス停下車 または 三重大学病院前バス停下車

2019年度 人文学部 公開講座 開講のご案内

三重大学人文学部は、毎年、市民の皆さま向けに「公開講座」を開講致しております。今年度は、言語の多様性、邪馬台国、環境と開発、LGBT、高齢社会の家族法、社会保障といった多様なテーマで6つの講座を開講致します。複数の講座の受講も歓迎致します。どうぞ奮ってご参加下さい。

| 整理番号 | 講師名 | 題名と概要 | 日時 |
|------|--------------------|---|----------------------------|
| 1 | 朴 恵淑 (人文学部教授) | 三重の環境問題と国連持続可能な開発目標(SDGs)との連携による持続可能な三重創生 過去の四日市公害の教訓を活かし、現在や未来の持続可能な三重を創るための国連持続可能な開発目標(SDGs)との連携を考えます。また、三重のノウハウを活かした、アジア諸国や新興国へ経済発展と環境保全を図る、戦略的Win-Winの関係を探ります。(入門的) | 9月26日(木) 19時～20時30分 |
| 2 | 大喜祐太 (人文学部講師) | 標準語と方言—ドイツ語圏スイスの事例から ある言語表現が標準的なものであるとみなされる基準は何でしょうか。母語話者にとっての言語的許容度、あるいは、普及の度合いでしょうか。それとも、言語の規範によってでしょうか。本講座では、ドイツ語の多様性とスイスの言語状況を手がかりにして、標準語と方言について考えます。(入門的) | 10月30日(水) 13時～14時30分 |
| 3 | 劉 靈均 (人文学部特任講師) | 台湾の同性婚とLGBT文学 台湾は2019年5月にアジア初の同性婚を認める国になりました。これは勿論台湾のLGBT(性的マイノリティ)の社会運動の成果の一つと考えられていますが、その裏には「同志文学」という文学作品が支えています。本講座では台湾の同性婚事情、LGBT運動とそれを支えてきた文学作品を紹介します。(入門的) | 11月14日(木) 19時～20時30分 |
| 4 | 諏訪克之 (人文学部准教授) | 社会保障制度について考える 少子高齢化が進む中で、今後の社会保障のあり方が問われています。社会保障の現状、課題の解説とともに、改革の動向についても触れていきます。(入門的) | 11月21日(木) 19時～20時30分 |
| 5 | 小澤 毅 (人文学部教授) | 邪馬台国と大和王権—邪馬台国はその後どうなったのか 卑弥呼の後継者となった台与の遣使記事を最後に、倭国は百数十年間、国外史料から姿を消します。その後、朝鮮半島に大軍を送るほどの勢力となった大和王権は、邪馬台国とどういう関係にあったのでしょうか。文献史料と考古資料から考えます。(入門的) | 11月27日(水) 14時40分～16時10分 |
| 6 | 稲垣朋子 (人文学部准教授) | 超高齢社会と家族法 わが国では高齢化率の上昇と家族構造の大きな変化によって、様々な問題が生じており、対応が迫られている。「老老介護」「無縁社会」の問題は、家族法においても重要な課題である。本講座では、主に成年後見制度の視点から、そうした課題への対応策を探る。(入門的) | 12月13日(金) 14時40分～16時10分 |